

各自治体紹介シート

自治体名	栃木県日光市
自治体紹介文	<p>日光市は、栃木県の北西部に位置し、西は群馬県に、北は福島県に接しています。市の総面積は、約1,450km²で、栃木県の面積の約4分の1を占め、全国でも3番目の広さを誇ります。</p> <p>世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史・文化遺産をはじめ、ラムサール条約登録湿地「奥日光の湿原」などの豊かな自然、鬼怒川温泉、湯西川温泉、奥日光湯元など随所に湧出する豊富な温泉を有し、自然、文化、歴史を感じる非常に多くの観光資源を基盤としています。</p> <p>首都圏から電車や車で約120分程度と程よい距離感で、生活・仕事といった「日常」と観光という「非日常」を同時にお楽しみいただけます。</p>
ワーケーション事業の概要	<p>近年、観光産業以外にも新たな魅力を創出しようと、地域の様々な企業が参画する官民共創の場『スマートワークライフ#N i k k o』を設立し、日光における新たなビジネス創出の機運醸成に取り組んでいます。</p> <p>『A3からはじまる新しい日光体験 ～準備不要・手ぶらで楽しめる日常と非日常をA3から～』</p> <p>をコンセプトに、いつでも、どこでも、誰でも日光でのワーケーションをお楽しみいただけるよう、豊富な地域資源を最大限に活用し、様々なコンセプトのワーケーションプランをご用意しています。</p> <p>まずはお試しで日光市にお越しいただくため、独自に宿泊費・コワーキング施設利用料の半額を助成する「ワーケーション実施支援補助金」制度を設けておりますので、ぜひご活用ください。（何人でも、何泊でも、何回でもご利用いただけます!!）</p>
問合せ先	<p>日光市企画総務部総合政策課政策調整係 長田 seisaku@city.nikko.lg.jp TEL：0288-21-5131</p>
ワーケーション事業のURL	https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/telework.html

ワーケーションプランの例示

1

産業遺産と環境のまち“足尾”の歴史とSDGsを学ぶ
ワーケーション(研修向けプラン)



2

“ココロとカラダ”を整えるウェルネスワーケーション
(福利厚生・チームビルディング向けプラン)



3

キャリアデザイン・ワーケーション(研修向けプラン)



4

郷土料理から学ぶ日光の“食”体験ツアー
(福利厚生・地場産業体験型プラン)



5

森づくりから始まる日光の“食”体験ツアー
(研修向け・地場産業体験型プラン)



6

チームビルディングワーケーション at TORCH
(チームビルディング向けプラン)



さあ一緒に新しい働き方を見つけましょう！



湯西川水の郷

雑多な日常から豊かな水と森に囲まれた非日常へ癒しのワークーション



薬師の湯

吹き抜けの青い空を天空列車が駆ける仲間と満喫ワークーション



天然水と森づくり

おいしい天然氷を作るにはキレイな水と森づくりから！森林保全を通じて日光の“食”を学ぶワークーション



鬼怒川 大滝遊歩道

SLに乗って名勝鬼怒川温泉を楽しむファミリーワークーション
❖ 本格ワークOK (鬼怒川エリアのホテル)



中禅寺湖

いにしへの避暑地に思いを馳せるワンランク上のワークーション
❖ 本格ワークOK



足尾環境学習センター

日本の産業における光と影を感じながら豊かな陸を守るSDGsワークーション
❖ 本格ワークOK (かじか荘)



日光金谷ホテル

世界遺産を望みながら日本最古のクラシックリゾートで時間旅行ワークーション
❖ 本格ワークOK (日光金谷ホテル)



Nikko Tochigi

こちらはほんの一例です。新しい働き方・新しい働く場所。あなたにとって魅力的な日光はどこですか？

世界遺産「日光の社寺」



日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社などの建造物群とそれらを取りまく文化的景観が、1999年12月ユネスコの世界遺産に登録され、2019年に世界遺産登録20周年を迎えました。



ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」

奥日光の湯ノ湖・湯川・戦場ヶ原・小田代原のうち約260.1haが、2005年に登録されました。さまざまな植物や動物・・・ありのままの自然に触れることができます。